令和７年度　西川学園

西川小学校だより

第14号
R. 2.15
校長 林 敏幸

西川の冬を満喫！スキー教室

1月29日(木)・30日(金)・2月14日(土)に、町民スキー場においてスキー教室を行いました。1月は上学年と下学年に分かれ、2月は全校で実施しました。

2月のスキー教室では、同時進行で町主催の「JONDAZNE Ski Championship」も行われ、多くの子ども達が参加して学習の成果を発表しました。この日は天候にも恵まれ、汗をかきながら滑り降りる子もいるほどでした。

前半のスキー教室では、月山スキークラブや保護者の方々に加え、地域の方々にも指導者として多数ご協力いただいたおかげで、子ども達は安心して楽しく滑ることができました。中には、1回目のスキー教室のときと比べて格段に上達した子もいました。

途中からは、「JONDAZNE Ski Championship」に参加した子どもたちが、自分で決めたスタート位置から思い思いの滑りでゴールを目指しました。力強い声援を受け、参加した子ども達は全力でフィニッシュ。完走した証として、首に西山杉で作られた特製のメダルをかけていただきました。

晴天の中、スキーの醍醐味を味わった一日となりました。

Let’s Enjoy スポーツフェスタ！

２月４日（水）～６日（金）に、「西川学園子どもチャレンジ事業」として、「西川小スポーツフェスタ」を開催しました。本事業は、町が子どもたち自らの発案による計画の具現化を支援するというもので、子ども達が自らの可能性に挑戦し、主体的に社会の形成に参画する実践力を高めることを目的としています。

その趣旨に基づき、本校では、児童会のなかよし委員会が「わくわくチャレンジ BOX」を設置し、全校生に「チャンレンジしてみたいこと」を呼びかけました。投稿された内容は様々でしたが、それらを集約すると「全校生みんなで楽しめること」がキーワードとなりました。これを受け、委員会の子ども達が話し合う過程で「アスレチック」が話題にのぼりました。それをきっかけに調べたところ、「chimaira（キマイラ）」の HP にたどりつき、スポーツフェスタを行うことになりました。

スポーツフェスタ当日は、大型トランポリンやボルダリングなどのアスレチック道具が準備され、体育館がスポーツイベント会場へと変身しました。子ども達は体育の授業ではもちろん、休み時間も様々なスポーツに夢中になって取り組んでいました。思い切り体を動かす中で速さやスリルを楽しんだり、初めて体験するスポーツを通して新たな意欲をかきたてたりしていました。

【パルクール】

走る・跳ぶ・登るなどの移動動作を使い、障害を乗り越えながら鍛える運動

【ウェーヴウォール】

【ボルダリング】

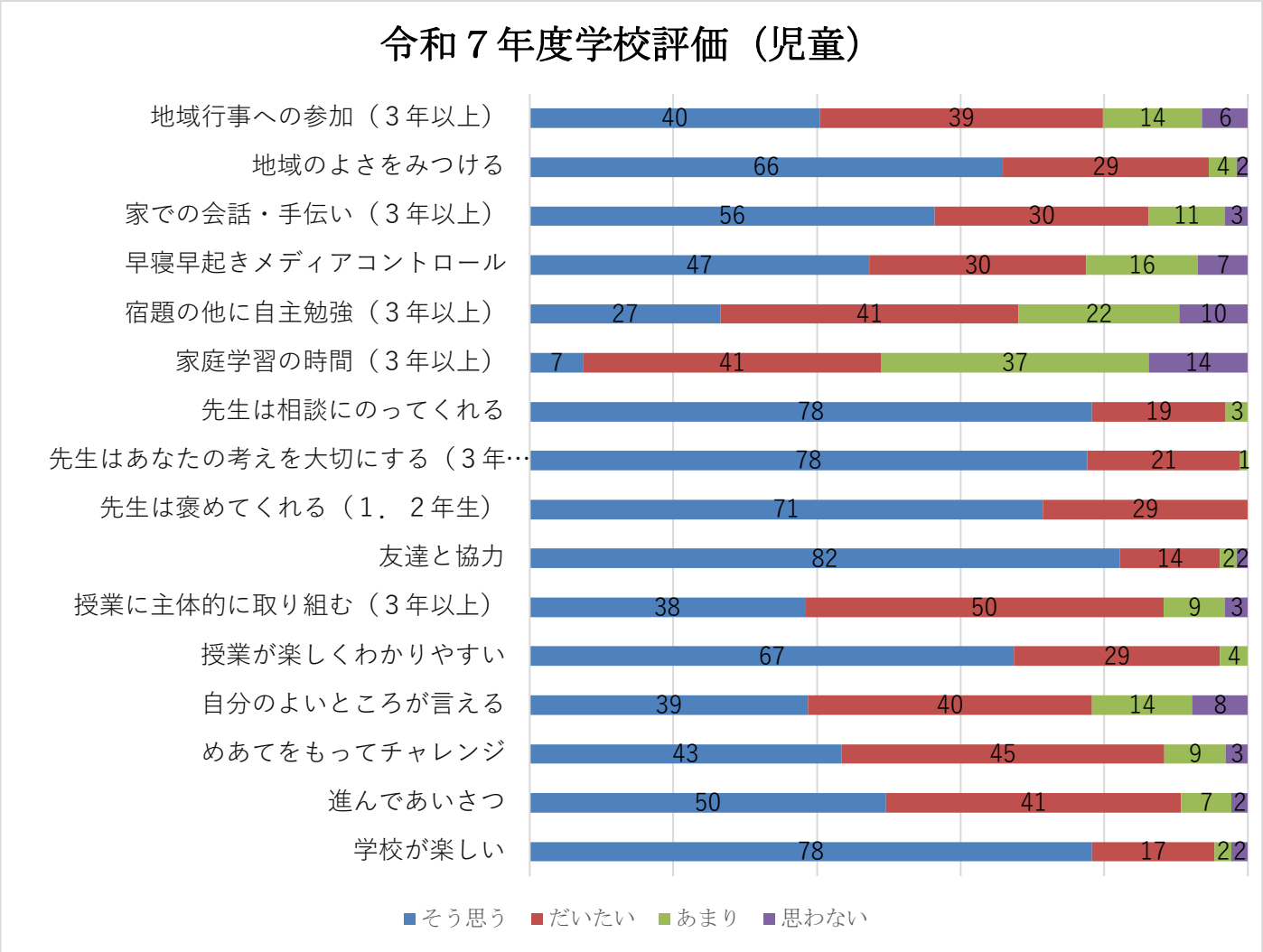
【トランポリン】

【スリッパ卓球】

【スヌークボール】

ビリヤードとサッカーを組み合わせたスポーツ

令和7年度学校評価の結果について

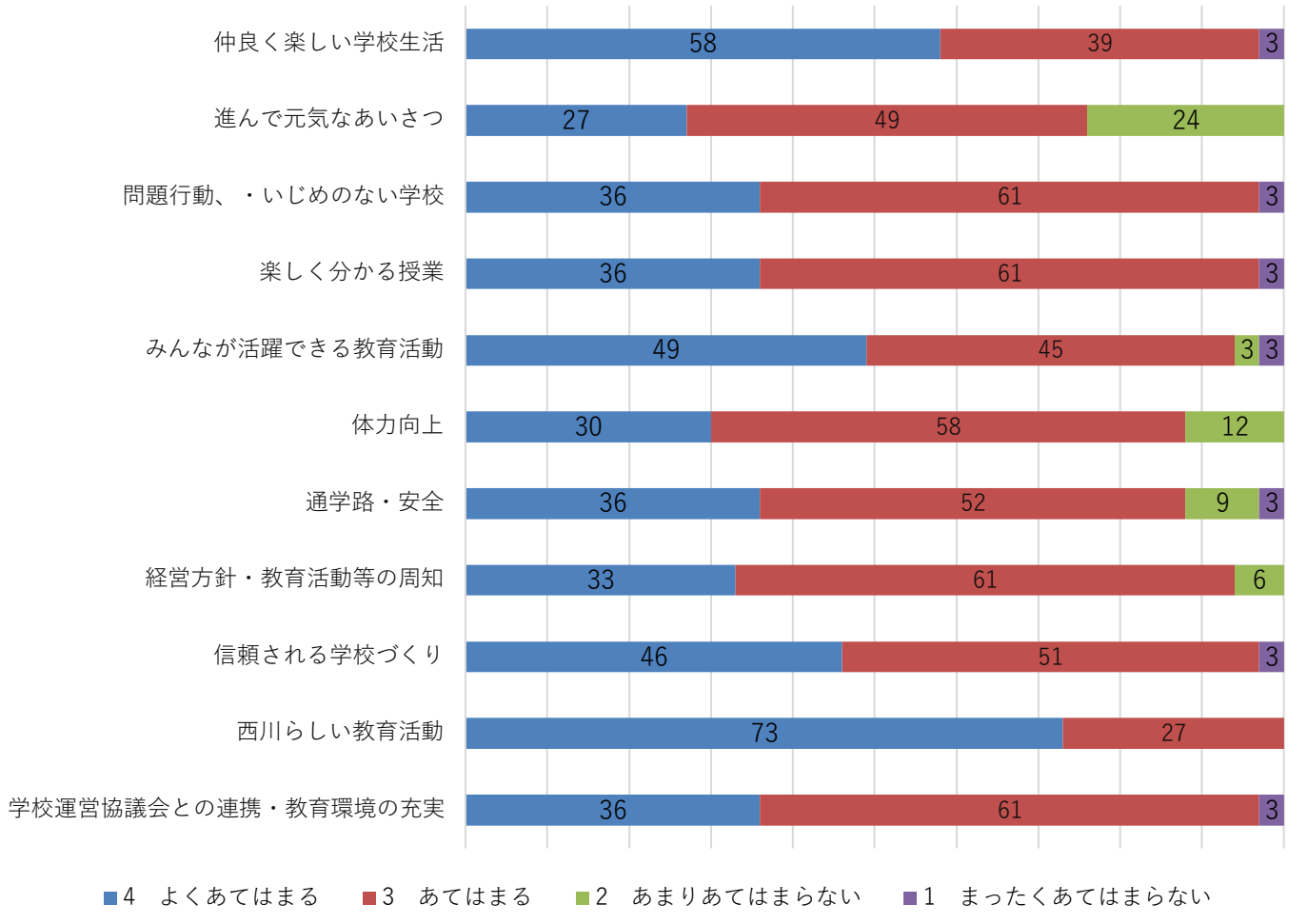


４：２時間以上　３：１時間以上　２：３０分以上　１：３０分未満

【分析と対応策】

- 【学校が楽しい】【友達と協力】【先生は相談に乗ってくれる】、【先生はあなたの考えを大切にする】が高評価でした。このことから、おおむね温かな学級経営、学校づくりができていると考えられます。しかし、学校が楽しくないと感じている児童もおりますので、一人一人の思いに寄り添いながら、教育活動を通して居場所づくりや絆づくりに努めてまいります。
- 【授業が楽しく分かりやすい】【授業に主体的に取り組む】と感じている児童が、昨年度より増えてきました（【授業が楽しく分かりやすい】＋５ポイント、【授業に主体的に取り組む】＋２ポイント）。学ぶことの楽しさを感じている児童が増えています。今後も、児童が「分かった」「できた」を実感できる授業を行いながら、自分の学びを振り返り、自分の学びを調整する力を育んでいきます。
- 【めあてをもってチャレンジ】に肯定的に回答した児童が、昨年度より若干増えました。（＋３ポイント）「わくわくチャレンジ」を合言葉に、自分のやりたいことや頑張りたいことを見つけ、チャレンジすることができたと考えられます。しかし、「そう思う」と回答した児童が少ないという課題もあります。子どもの「やりたい」を引き出し、「やりたいこと」の実現に向けて支援する姿勢を大切にし、達成感や満足感を味わえるようにしていきます。それが、自己肯定感を高めることにもつながると考えられます。
- 【家庭学習の時間】では、２時間以上勉強する児童が減り、逆に１時間未満の児童が増えました。家庭での学習習慣が身に付くよう、児童が取り組みたくなるような宿題について考えていくとともに、「家庭学習のすすめ」を活用し、保護者の皆様の協力を得ながら進めてまいります。

令和７年度学校評価（保護者）



【分析と対応策】

- 全体的に、「よくあてはまる」と回答してくださった割合が増えております。昨年度より 10 ポイント以上上回ったのは【仲良く楽しい学校生活（＋１０）】、【進んで元気なあいさつ（＋１６）】、【問題行動・いじめのない学校（＋１０）】、【楽しく分かる授業（＋１０）】、【信頼される学校づくり（＋１０）】でした。「昨年度よりもいきいきと学校に通っている様子が伺える」、「子どもたちの主体性を大切にした教育活動をしていただき、大変ありがたく思っている」などの声をいただきました。今後も、子どもたちの「やりたい」を大事にした授業や活動を行っていきます。
- 【楽しく分かる授業】は大きく改善しました。学校研究を通して授業改善に取り組んだことや、地域を素材として学ぶ学習がより学習効果を上げていると考えられます。今後更に目標に近づくために、教材研究や授業づくりについて学ぶ時間を確保しながら、授業力向上に努めてまいります。
- 【進んで元気なあいさつ】は、「昨年度よりも挨拶がよくなった」との声をいただきました。いつでもだれとでも、自分から進んで挨拶ができるよう、今後も指導してまいります。
- 【体力向上】は昨年度とほぼ同じような傾向でした。今年度は、体力テストで落ちている項目（瞬発力・走力）を中心に、体育委員会が鬼ごっこや縄跳びなどを企画し、全校でチャレンジする活動を行いました。保護者からは、体力向上を望む声も聞かれます。体育の授業の充実とともに、遊びを通して体力を高めてまいります。
- 【通学路・安全】については、毎年育成会や町当局、警察や安協のご協力のもと、要望にていねいに対応していただいております。今年度は熊の出没もあり、ご心配をおかけした面もあります。災害や野生動物の出没など、児童だけでの登下校が心配される場合には、町当局と相談しながら状況を把握し、素早い判断・対応、保護者への周知を行うことで、安全・安心な通学環境になるように努めてまいります。
- 全体的な評価が高くなっている一方で、「あてはまらない」と感じている方もおられます。教師としての力量を高めるとともに、学校の考えを保護者の皆様に伝えていくことを、今後も大切にしてまいります。

貴重なご意見ありがとうございました。これからも安心・安全な学校づくりに努めてまいります。家庭・地域・学校がひとつになり子ども達の学びを支えていきましょう。今後ともご支援よろしくお願いします。